



小澤征爾 ©Shintaro Shiratori



水戸室内管弦楽団 第92回定期演奏会より



工藤重典

1.16 [金] 18 [日] 水戸芸術館開館25周年記念事業 水戸室内管弦楽団 第92回定期演奏会

四半世紀の道のり、その先へ

文 中村晃

水戸芸術館は、2015年に開館25周年を迎えます。吉田秀和初代館長、そして一昨年から就任した小澤征爾館長の下、芸術活動の紹介や支援を通して、世に貢献すべく、走り続けてきたこれまでの歳月は、その渦中にある身からすれば、あっという間のような気がしますが、あらためて振り返ってみると、やはり四半世紀という時間の長さを感じてしまいます。これまでご支援くださった皆様への感謝とともに、開館25周年記念を飾る最初の公演として開催するのが、水戸室内管弦楽団(MCO)第92回定期演奏会です。プログラムの第1部では、MCOメンバーでわが国を代表するフルート奏者の工藤重典がソリストとして登場します。そして、第2部では小澤征爾館長が指揮を務めます。

MCOの華やかな新メンバーたち

MCOは水戸芸術館開館の年に創設されたオーケストラなので、同じく25周年を迎えます。ソリストやオーケストラの首席奏者として活躍する音楽家たちから構成されているMCOですが、近年、新しいメンバーの加入が続いております。このメンバーの変遷こそ、25年の時の移ろいを物語るものとなっています。最近3年間に入団したメンバーは、宮田大(チェロ、第1回ロストロポーヴィチ国際チェロコンクール優勝)、フィリップ・

トンドゥル(オーボエ、シュトゥットガルト放送交響楽団首席奏者)、猶井正幸(桐朋音楽大学教授)、ローランド・アルトマン(ティンパニ、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・ティンパニ奏者)、島田真千子(ヴァイオリン、パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール他入賞 ※1/24プロムナード・コンサートEXTRAに出演!)、佐份利恭子(ヴァイオリン、マリア・カナルス国際音楽コンクール他入賞)、リカルド・モラレス(クラリネット、フィラデルフィア管弦楽団首席奏者)という、小澤征爾館長が高く評価する、腕もキャリアも華々しい演奏家たちです。

古典派の様式美をそなえた3作品

さて、今回の演奏会のプログラムをご紹介しましょう。指揮者なしで演奏される第1部では、ラヴェルの〈クーブランの墓〉とモーツァルトの〈フルート協奏曲 第1番〉K.313(285c)の2曲が取り上げられます。ラヴェル(1875-1937)は、ロマン派を代表する作曲家のひとりで、複雑な和声を用いて、音楽の響きをより豊かにしようとした。しかし、その後は、秩序立った古典主義的な輪廓のはっきりした旋律を大事にし、曲の構造も簡潔で明瞭なものを求めるようになっていきました。そうした古典音楽への志向の集大成と言われている

のが、〈クーブランの墓〉です。18世紀のフランスの大作曲家クーブランをはじめとするフランス古典音楽に敬意を表して、1917年にまずピアノ曲として作曲され、1919年に管弦楽編曲が行われました。管弦楽版は、〈前奏曲〉〈フォルラーヌ〉〈メヌエット〉〈リゴドン〉の4曲から成り、各曲とも第一次世界大戦で亡くなったラヴェルの友人たちに捧げられています。

モーツァルト(1756-1791)の〈フルート協奏曲 第1番〉は、オランダの音楽愛好家フェルディナント・ド・シャンの「フルートのためのちょっとした短くて軽い協奏曲を3曲と四重奏曲を2、3曲」という注文を受けて作曲された作品のひとつです。モーツァルトのフルート協奏曲は2曲書かれましたが、オリジナル作品は第1番だけで、第2番はすでに完成していたオーボエ協奏曲からの編曲作品でした。第1番は、「ちょっとした軽くて短い協奏曲」どころではなく、フルートの音域の全てが駆使され、旋律も伸びやかな音型が用いられており、フルートならではの特質が大いに生かされた、古典派協奏曲の不朽の名作です。MCOが誇るフルート奏者、工藤重典のソロでお楽しみください。

そして、第2部は、小澤征爾館長の指揮で、ベートーヴェン(1770-1827)の〈交響曲 第8番〉作品93が演奏さ

れます。ベートーヴェンの9曲の交響曲の中では規模は小さめで、演奏される頻度も比較的少ない曲かもしれません。しかし、ヴァーグナーが「舞踏の聖化」と呼び、多様なリズムによる爆発的な推進力をもつ〈交響曲 第7番〉と人類の平和と喜びを歌い上げたあの〈第9番〉との間に位置する〈第8番〉なのですから、偉大な作品で無かろうはずがありません！〈第8番〉は、ベートーヴェンの激しさは影を潜め、大げさな身振りもなく、全体が簡素でありながら緻密な構成をもち、軽妙洒脱な味わいを醸し出しています。

これらのラヴェル、モーツァルト、ベートーヴェンの3作品は、いずれも端正な古典派の様式美をそなえ、自由に伸びやかな音楽が息づいているという点で、共通しています。巨匠たちが未来に残した、澄み渡る青空のような作品を、どうぞお楽しみください。

工藤重典 インタビュー

——工藤さんは、1990年の開館の年から水戸室内管弦楽団（MCO）のフルート奏者を務めてくださっています。それから25年が経とうとしています。これまでの水戸室内管弦楽団の活動を振り返って、どのようなご感想をお持ちですか？

工藤 ■今、まず感じることは、時の経つのは早いものだなあということです。もう25年もたってしまったとは信じられません（笑）。このオーケストラの活動をみると、水戸芸術館でのコンサートが

中心になっていますが、その活動を全国、いや世界に発信し続けてきたことが素晴らしいと思います。地方からこのような強いメッセージを全国に送り続けることの重要性を感じながら、いつも参加してきました。

——今回でMCOの公演は92回目となります。その中でも特に工藤さんが印象に残っている演奏会をお教えてください。

工藤 ■それは沢山あります！むしろ毎回が印象に残るものばかりだったと言っても過言ではありません。厳選されたプログラムやメンバーで十分なりハーサルを積み、最高の演奏ができるよう準備しますから。

その中であえて言えば、やはり第1回目の小澤征爾さん指揮のロストロポーヴィチさんのチェロで始めたコンサートですね。いつもは、大オーケストラでしか指揮したり演奏したりしないお二人が、初めて水戸室内管弦楽団で共演することになり、間近で彼らの音楽に触れた時の感動が今でも忘れられません。

——今回のモーツァルト〈フルート協奏曲 第1番〉は、指揮者無しの演奏となり、工藤さんが、「吹き振り」という形で、オーケストラを導きつつ、独奏も務めていただくこととなります。オーケストラをどのようにリードしていこうとお考えですか？

工藤 ■特にリードしようとかは考えていません。これだけのメンバーが揃っているわけですから（笑）。

また、彼らも僕のスタイルを知り尽く

していると思うので、会話をするように楽しく演奏したいと思っています。

——そのモーツァルト〈フルート協奏曲 第1番〉という作品の魅力、聴き所などをお教えてください。

工藤 ■このコンチェルトは、モーツァルトが、アマチュアのフルーティストのために書いたものだとされていますが、実際には現存するすべてのフルート協奏曲の中で最高のものだと信じます。この協奏曲のおかげで、フルートという楽器は、管楽器の中でも際立ってソリストティックになっていったのだと思います。その点でも重要な作品と言えます。

この曲の第2楽章は、弦楽器が全員ミュート（弱音器）を付けて演奏します。と同時に管楽器も、オーボエからフルートに持ち替えられ（当時はフルートもオーボエも同じ奏者が演奏していました）、独奏フルートの繊細で柔らかな響きに合わせられるようモーツァルトが配慮したものです。その独特な雰囲気と音色を楽しんでいただければ嬉しいです。

——最後に、水戸のお客様に向けてメッセージをお願いします。

工藤 ■ここ水戸という町は、徳川御三家の一つとして、文化を大切にしている精神が宿っていますね。このような素晴らしい芸術館の設立、運営の継続がさらにこの町の文化都市としての存在を色濃く印象付けていくものと思います。

素晴らしい聴衆の皆さんとともに、これからも水戸の町の発展のためにいい演奏をしていきたいと思っています。



工藤重典

水戸芸術館開館25周年記念事業
水戸室内管弦楽団
第92回定期演奏会

1/16 **金** 18:30 開場
19:00 開演

1/18 **日** 13:30 開場
14:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール
全席指定 S席 15,000円、A席 12,500円
B席 10,000円

出演 小澤征爾（指揮） 工藤重典（フルート）
【第1部】 指揮者なし
ラヴェル：クーブランの墓
モーツァルト：フルート協奏曲 第1番 長調 K.313
(285c)

【第2部】 指揮：小澤征爾
ベートーヴェン：交響曲 第8番 へ長調 作品93

最近の公演から

2014.10.31, 11.2 新ダヴィッド同盟 演奏会

2010年に結成された専属楽団「新ダヴィッド同盟」の2年ぶりの演奏会。ゲストに練達の室内楽奏者クライヴ・グリーンズミス（チェロ）を迎え、グループ初の2プログラム公演に挑んだ。メンバーの気合いの入りようは特別で、ほとんどのメンバーは10月25日に水戸入りし、翌26日から練習を開始。まさに合宿状態で、庄司紗矢香、佐藤俊介、磯村和英、小菅優、そしてグリーンズミスという国際的に活躍する演奏家たちが、腰を落着けて音楽づくりに集中した。そして、普段は多忙ゆえなかなか持つことのできない、室内楽を思う存分楽しむ時間を満喫しているようにも見た。本番では、「新ダヴィッド同盟」ならではの瑞々しい演奏が聴衆を魅了。2日間とも熱狂的な拍手に迎えられた。アンコールは、ドヴォルザーク〈ピアノ五重奏曲 イ長調〉作品81から第3楽章。《関根》アンケートから■コダーイの二重奏は「練習なんかしてませんよ!」というような素振りや、素晴らしいアンサンブルを聴かせてもらえました。フランクは、弦のアンサンブルがまさに室内オケのような響きで、ピアノが独奏楽器にも、管楽器・打楽器のようにも聴こえ、今までに聴いたことのない演奏で感動しました。(水戸市：H.H.さん) ■フランクの集中力もすごかった。引き込まれるように聴いてしまいました。(水戸市：Y.K.さん) ■Aプロ、Bプロと連続して聴くことができ、より素晴らしかったです。個性があり、息がぴったりで、情熱的で、知的で…本当に心を揺さぶられました。(水戸市の方) ■2回公演ということで、多くの演奏が聴け、とても良かったです。今後も新ダヴィッド同盟の企画が続いていくことを願います。(水戸市の方)

2014.11.8 河村尚子ショパンプロジェクト 第1回

若手ピアニストの代表格、河村尚子さんを迎え、ショパンを題材にした新しいプロジェクト(全4回)が始動した。ピアノ音楽に大きな足跡を残したショパンの芸術の真髄を解き明かすべく、河村さんのアイデアを全面的に形にした内容をお届けする。第1回は「バラードとノクターンを中心に」。プログラム・ノートで広瀬大介氏も指摘していたが、バラード各曲の前奏となるように、曲想や調性に細やかな配慮をしながらノクターンを置いたのは、河村さん独自の素晴らしいアイデアだ。トークでは、9月にご出産されたお話を披露され、母としての愛情がたっぷり注がれた〈子守歌〉の演奏につないだ。アンコールはノクターン2曲(《変ニ長調》作品27の2と遺作〈レント・コン・グラン・エスプレッシオーネ〉)。3月11日の第2回も、どうぞお楽しみに。《関根》アンケートから

■プログラムの組み立てが良かったです。1つ1つの曲がバラバラでなく、響きで「ある関係」をし合っていました。ホールの大きさが丁度良く、響きがステキです。演奏者の呼吸がどこの席にも伝わる大きさですね。(神奈川県の方) ■河村さんの素晴らしい演奏に感動いっぱいです。温かくやさしい音色に涙しました。次回も楽しみです。(無記名の方) ■このような企画に来場するのは児玉桃さんのドビュッシー・シリーズ以来2回目でしたが、曲への理解が深まり、また演奏者の方との距離が近くなり、とても素晴らしい企画だと思います!(水戸市の方)

2014.11.16 宇野陽子 チェロ・リサイタル

桐朋学園大学研究科を修了され、その後は各地で、ソロや室内楽で活躍されている水戸市出身のチェリスト・宇野陽子さん。この度、当館で6年ぶりのソロリサイタルが開催された。プログラムは、まずJ.S.バッハの〈無伴奏チェロ組曲〉より「第1番 ト長調」。チェロの旧約聖書とも言われる組曲の一つに真摯に向き合い、丁寧に音を紡ぎだす姿が清々しく印象的だった。続いて前半には、厚い信頼をおくピアニスト・諸田由里子さんと共に、シューマン、ミヨーの作品を。そして後半にはラフマニノフの〈チェロ・ソナタ 短調〉作品19が演奏された。ピアノはもちろん、チェロにとっても難易度の高い大作で、かつチェロの魅力的な旋律に満ちたこの作品において、宇野さんは持前の表現力を十全に発揮。ときに深く朗々と歌いあげ、ときに力強く高らかにメロディを奏で、作品の壮大な世界観を味わわせてくれた。アンコールは、ベートーヴェン〈メヌエット 長調〉。《高巣

2014.11.24 ちょっとお昼にクラシック 池上英樹(マリンバ、打楽器)

池上英樹さんは卓越した打楽器奏者にしてフラメンコも踊る多才なパフォーマー。今回の舞台には様々な打楽器が配置され、照明や音響の演出も加わり、目と耳の両方で楽しめるコンサートになりました。マリンバ独奏から、ダンスを取り入れた創作パフォーマンス、柴田かなさんのピアノとのアンサンブルまで、たっぷり1時間半の公演。アンコールは、ピアソラ〈むかし、むかし(アヴェ・マリア)〉、モンティ〈チャールダーシュ〉。《篠田》アンケートから■マリンバの湧き出るような音の美しさに感動しました。またパフォーマンスでのドラム、フラメンコ等の技量の高さにびっくり。(水戸市の方) ■良い映画を観た後のように、コンサートが終わってからも席を立ちたくありませんでした。こんな音楽は未だかつて聴いたことがありませんでした。(水戸市の方)



1-2: 新ダヴィッド同盟 演奏会
3-4: 河村尚子 ショパン・プロジェクト 第1回
5: 宇野陽子 チェロ・リサイタル
6: ちょっとお昼にクラシック 池上英樹

茨城の名手・名歌手たち 第25回 出演者オーディション

2015年秋に開催予定の演奏会に向けて、出演者オーディションを行います。

【開催日】2015年4月12日(日)

【申込受付期間】2015年3月1日(日)～3月10日(火) [当日必着]

【審査対象部門】鍵盤楽器、弦楽器、邦楽器(以上ソロ)、
邦楽アンサンブル(2人～5人まで)

【出場資格】下記のいずれかに該当し、水戸芸術館の審査において適当と認められた方 ※アンサンブルでの応募の場合、メンバーの2人以上が該当すること。

- ①茨城県に本籍を有する
- ②現在、茨城県内に居住している
- ③現在、茨城県内に通勤・通学している(週4日以上)
- ④過去に茨城県内に居住・通勤・通学したことがある(事前に要問い合わせ)

【参加費】1組2,000円

【資料請求方法】1.当館ホームページよりダウンロード
2.当館エントランスホール・チケットカウンターにて直接入手
3.82円切手を貼付し返信先を記入した封筒と、受験する楽器(編成)を書いたメモを同封の上、下記宛先まで郵送

【お問い合わせ】水戸芸術館音楽部門「茨城の名手・名歌手たち」係
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL 029-227-8118 (担当:篠田・関根)

水戸芸術館友の会のご案内

水戸芸術館のさまざまな事業をより楽しんでいただく「友の会」にぜひご入会くださいませ。

- ・**一般会員** 年会費:2,000円
主な特典:チケット先行予約、企画展へのご招待・ご優待 など
- ・**法人会員** 年会費:10,000円(会員証5枚発行)
主な特典:チケット先行予約、企画展へのご招待・ご優待 など
一般会員の特典がすべてご利用いただけます。
- ・**ネット会員** 年会費:無料(会員証発行なし)
主な特典:メールマガジン配信 など

館の運営をご支援いただく「運営維持会員」も募っております。
会費(1口50,000円)は、当財団への寄付の扱いになり、税制上の優遇措置がござります。

【お問い合わせ】水戸芸術館 友の会係 TEL.029-227-8111
◎特典の詳細やオンライン入会についてはこちらをどうぞ。
<http://arttowermito.or.jp/tomo>

チケット・インフォメーション

《12月20日(土)発売分》

■河村尚子 ショパン・プロジェクト 第2回

2015年3/11(水)19:00開演
料金 [全席指定] 一般 ¥3,500 / ユース (25歳以下) ¥1,000

■水戸うらら女声合唱団

2015年3/22(日)14:00開演
料金 [全席自由] ¥1,500

これからの演奏会・残席情報

○…残席あり(20席以上) △…残席わずか(20席未満) ×…残席なし
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席

◎ラデク・パボラーク&アレシュ・パールタ デュオ・リサイタル
……………12/8(月)1F×、2F△、補助△

◎クリスマス・プレゼント・コンサート 2014
……………12/23(火・祝)中央×、左右○

◎コール・ヴィステリー 10周年記念演奏会…2015年2/15(日)自由席○

◎谷田部ひさみ ピアノ・リサイタル……………2015年2/22(日)自由席○

◎ちよっとお昼にクラシック 松波恵子(チェロ)と素敵な仲間たち
……………2015年2/27(金)中央○、左右○

※11/26(水)現在の状況です。
※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

水戸芸術館の主な1月のスケジュール

コンサートホール ATM

■開館25周年記念事業

水戸室内管弦楽団 第92回定期演奏会(第2部指揮:小澤征爾)
2015年1/16(金)19:00開演、1/18(日)14:00開演
料金 [全席指定] S席 ¥15,000 / A席 ¥12,500 / B席 ¥10,000

■芸術文化活性化事業 Sweet & Swing 楽しいジャズコンサート

2015年1/31(土)14:00開演 料金 [全席指定] ¥1,500

エントランスホール

■パイプオルガン プロムナード・コンサート 入場無料

2015年1/4(日)都築由理江、25(日)紺野麻衣
各日12:00～/13:30～(各回30分程度)

■プロムナード・コンサート EXTRA 入場無料

2015年1/24(土)島田真千子(ヴァイオリン) 13:00～(50分程度)

ACM劇場

■春風亭昇太 独演会

2015年1/12(月・祝)17:00開演
料金 [全席指定] S席 ¥3,500 / A席 ¥3,000 / B席 ¥2,500

現代美術ギャラリー

■チョン・ヨンドウ 地上の道のように

11/8(土)～2015年2/1(日)9:30～18:00 ※入場は17:30まで
[休館日] 月曜日、年末年始12/27(土)～1/3(土)
※ただし、2015年1/12(月・祝)は開館、1/13(火)は休館
[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体(20名以上) ¥600
※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料

■クリテリオム89 GABOMI ※料金は展覧会の入場料に含まれます。

チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000
営業時間:9:30～18:00(月曜休館)

公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118

ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>

公式ブログ <http://concerthallatm.blog101.fc2.com/>

ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場

twitter @ConcertHall_ATM

編集後記

「今季のF1も終わりましたね。」というタイミングで、またもや(て)さんとの、意外な共通点が発見しました。「私、昔、縄跳びの神童だったんです。」お互い準備は必要そうですが、いつか夢の対決が望まれます。(り)

気の知れた友人達と、久々の旅行へ。小学生ぶりに砂浜で遊び、ダイビングにも初挑戦しました! ゆっくりとした時間の流れと自然に癒され、本当に素晴らしい時を過ごす事が出来ました! 心から友人に感謝です!(稲)

上野耕平さんと塙美里さんのデビュー盤、坂口大介さん所属のクローバー・サクソフォン・クワルテットの新譜CD。「レコード芸術」12月号の新譜月評には茨城出身のサクソフォン奏者のCDがずらり! 何だか嬉しいですね。(篠)

今年も第九シーズンが到来。1999年の初回から携わり、熱血指導ですばらしい企画に育ててくださった鈴木良朝先生が、先日ご逝去された。舞台上立つ皆さんとともに、当日、熱い感謝の気持ちをささげたいと思います。(て)

民謡酒場が面白い。東京のあるお店には、全国津軽三味線コンクール覇者やどじょうすくいチャンピオンなど芸達者な若者揃い。そして目の前で披露された津軽三味線五重奏の力強いこと…! 厳しい冬も乗りきれそう。(樹)

分け隔てなく皆に愛情を注ぎ、そのタクトからは雄弁な音楽が湧き出される。晩年は、水戸芸術館の《第九》公演の指揮者を務められ、毎年感動のステージを創ってくださいました。鈴木良朝先生、ありがとうございました。(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]
2015年1月発行 第194号
編集発行:水戸芸術館音楽部門
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130
E-MAIL ankmr@arttowermito.or.jp
URL <http://arttowermito.or.jp/>
編集:水戸芸術館音楽部門(五十音順) / 石井亮子
稲田枝里子 篠田大基 関根哲也 高栗真樹 中村晃
デザイン:藤澤絢子
印刷所:山三印刷株式会社